

めぐみイエス・キリスト教会

2018年11月4日(日)第一主日礼拝
週報「通算第430号」



2018年標題聖句

使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年11月4日(第一主日礼拝)

第一礼拝 午前10時～11時

第二礼拝 午後6時～7時

司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌209「慈しみ深き」 p. 316

【交読文】 No.20 詩篇第57篇(抜粋) p. 894

【賛美Ⅱ】 新聖歌99 「まぶねの中に」 p. 139

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.4 「天には救いの喜び満ち」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書16章16節～20節(新約p. 195)

【祈 禱】

【説 教】 《しばらくすると》

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

●ポイント1 「しばらくすると、私を見なくなる」とは？

※ルカの福音書18章31節～34節「三度目の受難予告」(新約p.140下段)

18:31 さてイエスは、十二弟子をそばに呼んで、彼らに話された。「さあ、これから、私たちはエルサレムに向かって行きます。人の子について預言者たちが書いているすべてのことが実現されるのです。

18:32 人の子は異邦人に引き渡され、そして彼らにあざけられ、はずかしめられ、つばきをかけられます。

18:33 彼らは人の子をむちで打ってから殺します。しかし、人の子は三日目によみがえります。」

18:34 しかし弟子たちには、これらのことが何一つわからなかった。彼らには、この言葉は隠されていて、話された事が理解できなかった。

●ポイント2 「またしばらくすると、私を見る」とは？

※マタイの福音書26章30節～32節「ゲッセマネへの道」(新約p.51上段)

26:30 そして賛美の歌を歌ってから、皆オリーブ山へ出かけて行った。

26:31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、今夜、私のゆえにつまずきます。『私が羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散り散りになる。』と書いてあるからです。

26:32 しかし私は、よみがえってから、あなたがたより先に、ガリラヤへ行きます。」

※マタイの福音書28章16節～17節前半「ガリラヤにて」(新約p.57下段)

しかし、十一人の弟子たちは、ガリラヤに行って、イエスの指示された山に登った。そして、イエスにお会いしたとき、彼らは礼拝した。

●ポイント3 「泣き、嘆き悲しみ、世は喜び、しかし悲しみは喜びに」

※ルカの福音書24章36節～43節「ヨハネ・マルコの家」(新約p.156上段)

※ヨハネの黙示録7章17節「長老のひとりの言葉から」(新約p.445上段)

7:17「なぜなら、御座の正面におられる小羊が、彼らの牧者となり、いのちの水の泉に導いてくださるからです。また、神は彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださるのです。」

◎先週のメッセージの概要【すべての真理とは？】

《「あなたがたに話すことがまだたくさんあります」と言われましたが、実際にはイエス様に残された時間はあと僅かでした。そして「耐える力がありません」と言われたことは、まだ「もう一人の助け主」が来られる前だからなのです。「真理の御霊が来ると、すべての真理に導き入れます。」と言われましたが、「真理」は、御霊(聖霊)の助けがなければ、私たちは到底、理解することが出来ないということが分かります。

ところで、イエス様が言われた「真理」とは何でしょうか。かつてイエス様は、エルサレムの宮において、パリサイ人や律法学者たちに言われました。「もしあなたがたが、私の言葉にとどまるなら、あなたがたは本当に私の弟子です。そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。神から出た者は、神の言葉に聞き従います。」ここから真理とは、イエス様が語られた言葉であり、父から出た神の言葉であることが分かります。

さて、イエス様は「真理の御霊が来ると、すべての真理に導き入れます。」と言われましたが、これは素晴らしい約束です。かつてトマスが質問した時に、主は「私が道であり、真理であり、命なのです。」と答えられました。

またパウロは、すべての真理について、こう説明しています。『御子は、見えない神の形であり、造られたすべてのものより先に生まれた方です。なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子の為に造られたのです。御子は、万物よりも先に存在し、御子にあって成り立っています。』と。「すべての真理」とは、文字通り、全宇宙の真理を解明することではありません。いかに科学が発達したとしても、それは人間には不可能なことなのです。

一番大切なことは、この世界は誰が造ったのか、私たち人間はどこから来てどこへ行くのか、なぜ私たちは存在するのか、私たちが存在する意味と目的は何なのか、と言うことです。その答えは、主イエス・キリストなのです。》

◎お知らせ

※次回の礼拝は、11月11日(日)です。通常通り、第一礼拝は午前10時から、そして第二礼拝は午後6時から行ないます。次回の祈祷会は、11月21日(水)午後6時15分からです。11月14日(水)と28日(水)の祈祷会はお休みします。